

---

# 屋上エデン

源雪風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

屋上エデン

### 【コード】

N6182Q

### 【作者名】

源雪風

### 【あらすじ】

屋上でしぬかとおもいきや……。

屋上から見る空は快晴だ。

今日も死にたい。

フェンスを乗り越えて見るいつもの世界は、さよならって言ってるみたいだ。

ここから落ちれば地面が受け止めてくれる。

靴を脱いで落ちかけたその時、手を誰かが掴んでいた。

誰かの手は放してくれない。

宙ぶらりんになる。

不思議と抵抗はしなかった。

その手が温かったから。

強い力で引つ張られ、屋上に戻る。

「大丈夫？」

誰かは言う。

何故か泣きそうになる。

部屋で独り首つりをしなかった理由が分かった。

誰かに助けて欲しかった。

地面ではなく、人に受け止めて欲しかった。

大丈夫って言うて欲しかった。

悲しんでもらいたかった。

必要とされたかった。

手の温かさが「大丈夫？」って言葉が、助けてくれた。

屋上は地獄だった。

独りで震えていた。

消えてしまいたいと何度も思った。

叫んでも泣いても、誰にも届かなかった。

「お前は必要ない」って言われてるみたいだった。

でも今は屋上は天国だ。

もう独りじゃない。

下らないことを言い合って笑いあえる友達がいる。  
必要とされている。

空は快晴だ。

今日も生きたい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6182q/>

---

屋上エデン

2011年2月4日00時31分発行